令和4年度事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人
脳損傷友の会高知　青い空

1　事業の成果と課題

令和4年度も月例会（毎月第3日曜日）、女子会（毎月第2土曜日）、中土佐町つどい処（奇数月第4土曜日）の会を行ってきた。月例会について、令和4年度は新型コロナウィルス感染症の影響により6月、11月、12月、2月、3月の合計4回の開催となった。女子会については、原則オンライン会議システム（Zoom）を用いて開催しており、定期的に当事者、当事者家族、支援者間での意見交換を行ってきた。指定障害福祉サービス事業所（就労継続支援B型）青い空は、開所日数＝252日（-8日）、延べ利用者数＝6,792人（＋864人、＋14%）、1日平均利用者数＝26.95人（＋4.15人、＋18%）、延べ作業時間＝30,070時間（＋2,924時間、＋10%）、工賃支払総額＝4,595,230円（＋306,885円、＋7%）、平均時給＝152円（-6円、-4%）となり、昨年度に続き平均時給が前年度比マイナスとなった。今後も利用者増が見込まれるため、新たな収入源を得ることが急務である。

事業所の作業は、ガスメーターの解体作業、銅線の剥線作業は金属買取価格の高騰もあり、解体作業における工賃収入が今年度も大きな収入源になっている。また、レザークラフト作業は、新型コロナウイルス感染症の影響で日本高次脳機能障害友の会全国大会等のイベントがWeb開催となり、会場での出店・販売ができなかったが、帯屋町で開催された第23回障害者作品展にマテリアルショップPalletと共に作品を出展販売し、利用者さんの接客の機会を作ることができた。トンネルFRP貼り付け作業は取引先の事業撤退に伴い終了となった。「喫茶おちつき処」は、新規メニューとしてシフォンケーキ販売を開始し、ランチ以降の時間帯の集客増を目指している。

令和4年度も引き続き、高知県から委託され実施している高知県高次脳機能障害支援拠点センターを近森リハビリテーション病院と協同して運営してきた。当センターでは、高次脳機能障害当事者やその家族、支援者からの相談業務を行うとともに、福祉関係者や医療関係者を対象とした研修会や家族教室などの企画・運営を行い、高次脳機能障害の普及・啓発に取り組んだ。

令和4年度障害者芸術文化活動普及支援事業における中国・四国ブロック広域支援センターを厚生労働省から受託し、研修会や中国・四国ブロック会議等を実施した。

(1)特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
理解を広めるための事業	つうしんブルースカイ発行 日本脳外傷友の会 全国大会参加 アメニティフォーラム参加	4回発行 WEB開催 令和5年1月 令和5年2月	事務所 滋賀県大津市	2～3人 5人	会員・医療・福祉・行政150部
社会参加を促進するための事業	BBQ大会 新年会 花見大会 勉強会	中止 中止 中止 中止			
相談、調査、支援事業	月例会 女子会 つどい処	第3日曜 第2土曜 奇第4土	青い空 青い空 つどい処		当事者・家族・医療関係者等 12～20人
障害福祉サービス事業	就労継続支援B型事業 青い空	平日8:30～17:30	青い空	7人	登録者39人
	高次脳機能障害相談所 青い空	平日10:00～16:00	青い空	3人	高次脳機能障害を呈し利用を希望する者。
居宅・介護予防サービス事業	該当なし				
目的を達成するために必要な事業	高知県高次脳機能障害支援拠点センター	平日8:30～17:00	近森リハビリテーション病院	3人	支援者および当事者、行政関係者
	中国・四国Artbrut Support Center passerelle	平日8:30～17:00	青い空	2人	各支援センター、行政関係者

(2)その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	
物品・食品等の製造及び販売事業	該当なし					
出版物の販売及びビデオ等の貸し出し事業	該当なし					